

地質ニュース

昭和 54 年 4 月

第 296 号

1979

解 説	共水性ガスとその鉱床 (その2) 福 田 理 6
	汚染底質調査のために開発した採泥器 青 木 市太郎 19 木 下 泰 正
	白亜紀以降西南日本の地史と島弧 平 甲 朝 彦 27 —海溝系のテクトニズム— 田 藤 代 次 正 之
トピックス	X線トポグラフ(ラング法)の話 安 田 俊 一 41
国際会議	国際鉱床学連合(IAGOD)第5回総会に出席して 石 原 舜 三 49
	標本館に対する海外からの地質標本(1) 神 戸 信 和 58
	地質調査所発行の各種地質図 資 料 室 60
	100万分の1日本地質図(第2版) 広 川 治 ほか 中国・四国地方を例として
口 絵	九州豊肥地域の「大規模深部地熱 発電所環境保全実証調査」始まる 小 川 克 郎 正 井 義 郎

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

サン・ホアン火山地域のカルデラ断層

コロラド州南西部に広がる サン・ホアン(San Juan)火山地域には Oligocene (35~30m. y.) と Miocene-Pliocene (30~25m. y.) とに分けられる大量の火山噴出物が分布する。 40,000km² (関東地方+静岡県)の広さに平均の厚さ 1,000m. 前者は中性岩が主で少量の珪質岩を伴い 後者は bimodal で珪質な流紋岩とアルカリ玄武岩質マグマの活動によるもので とくに後者の活動末期には 金 銀 銅 鉛 亜鉛の熱水鉱床をもたらす ゴールド・ラッシュを招いている。 平均径 10~30km の 15 のカルデラから噴出した火山噴出物は その主なものは流紋岩質火砕岩である。 Pb, Sr, REE, O などの同位体組成の測定結果からは Oligocene のグループは地殻下部で また Miocene-Pliocene のそれらは地殻上部の部分熔融で形成されたもので とくに鉛 (Pb) 同位体による二次同時線鉛年齢 (secondary-isochron Pb ages) による年代と この地域の基盤の先カンブリア紀 (18億年と14億年) の年代と一致する。 写真はこの地域の Creede カルデラ形成による垂直断層で 左部分は流紋岩溶岩 右側は火砕岩で 右部分が約 300 m 落ちている。

(文・写真: 倉沢 一)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社